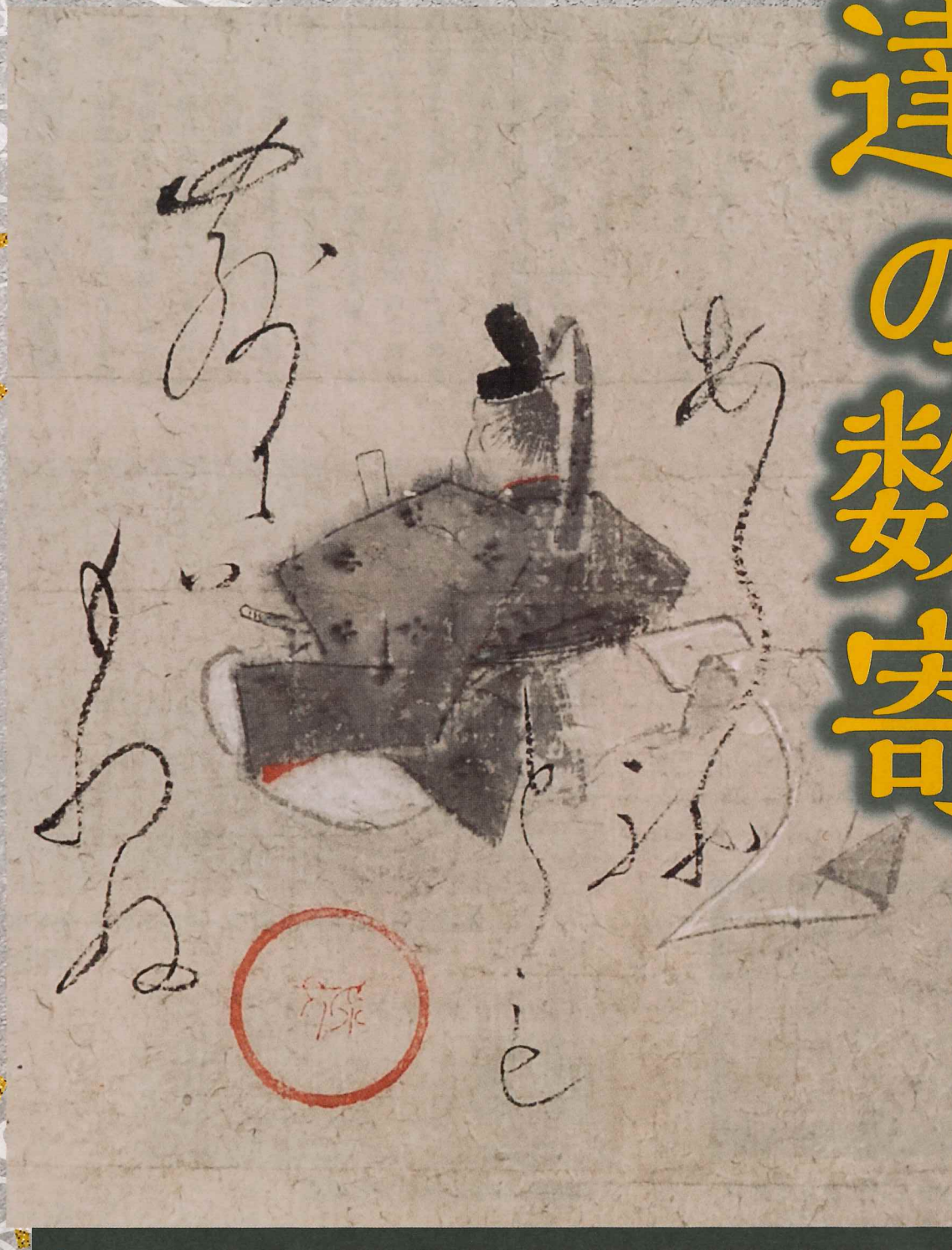


登米懷古館
TOYOMA KAIKOKAN

領主が愛でた「歌・茶・香・書画」

伊達すきの数寄



伊達政宗筆古歌「咲時ハ」(部分) 館蔵
(登米市指定文化財)

令和8年

9.12

土



11.29

日

観覧料金/大人 400 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

開館時間/9:00～16:30 お問い合わせ/0220-52-3578

HP



伊達の数寄

領主が愛でた「歌・茶・香・書画」

「数寄」は「好き」に通じ、風流文雅を好むことを意味します。お茶やお香、和歌、書画など、風流文雅の世界を形づくる芸道文化は、時代の流れの中で武家にも取り入れられ、領主が身に付けるべき教養として重んじられてきました。これらの文化は武家同士・武家と公家の交流を媒介し、様々な情報を得る政治的手段でもありました。

一方で、領主の中には芸道そのものに魅力を見出し、深く傾倒するものも多く現れました。領主が愛でたこれらの芸道文化は、江戸時代を通じて庶民にも広がり、時代を越えて今日まで受け継がれています。

本企画展では「数寄」をテーマとして、主に登米伊達家・佐沼亘理家に伝わる、武家の芸道文化を伺い知ることができる資料をご紹介します。領主自ら制作した和歌・書画・茶杓などの資料もご覧いただけます。

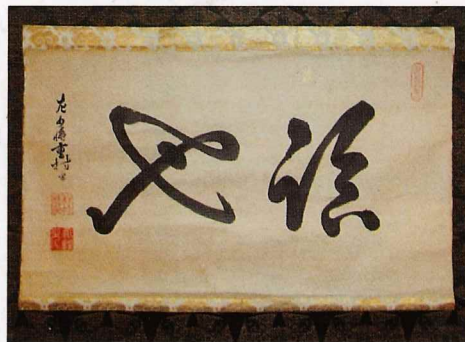
本展を通じて、武家の「数寄」の世界と、そこから浮かび上がる領主たちの姿に親しんでいただけたら幸いです。



和歌 登米伊達家11代・伊達宗充筆 登米伊達文庫蔵



武蔵野図 涌谷伊達家2代・伊達宗重筆 登米市歴史博物館蔵
(登米市指定文化財)



書「臨池」 仙台藩主7代・伊達重村筆
登米市歴史博物館蔵



六国列香 登米市歴史博物館蔵



お香の
体験コーナーも
あるよ

茶杓「鶴雛」

仙台藩主3代・伊達綱宗作
登米市歴史博物館蔵

